

令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査等の結果
滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

1 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における暴力行為の状況

(1) 暴力行為の総発件数 <表(1)>

公立小・中学校および県立高等学校における暴力行為の総発件数 1,275 件
【前年度(981件)より294件増加】

(2) 学校種別の発件数 <表(2)>

① 公立小学校

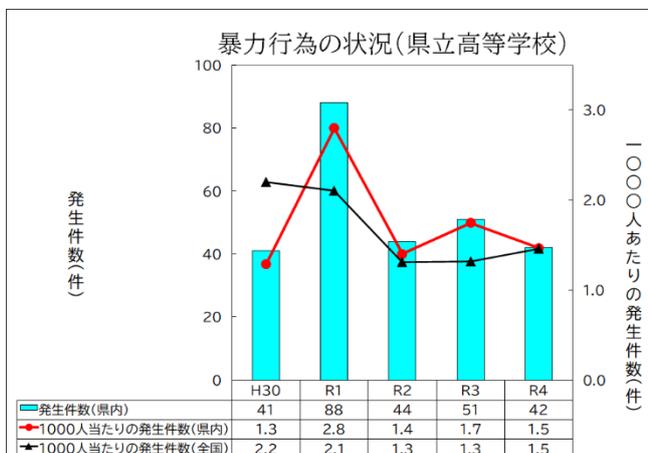
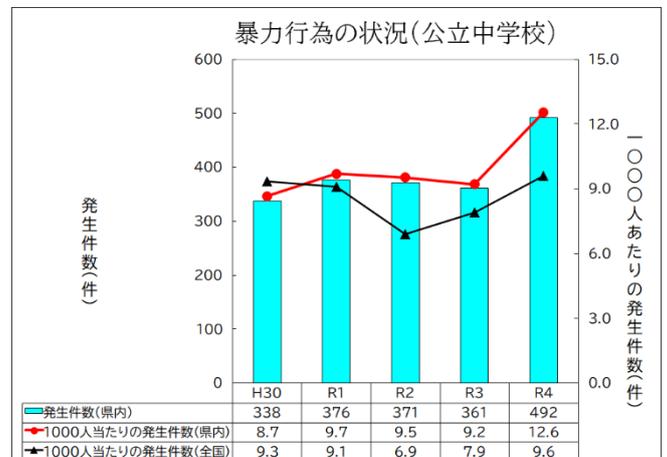
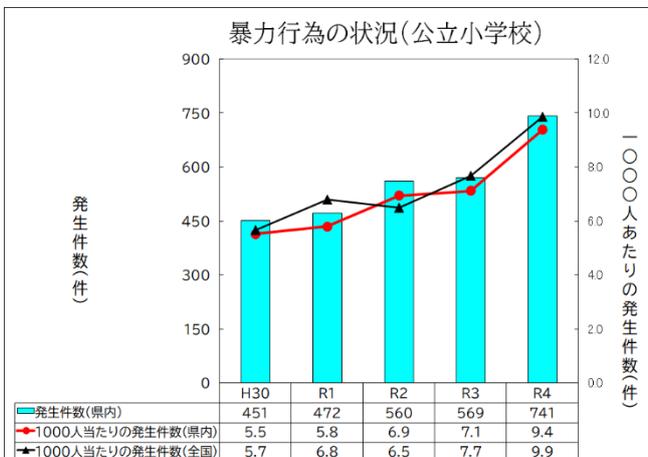
・総発件数は 741 件【前年度(569件)より172件増加】

② 公立中学校

・総発件数は 492 件【前年度(361件)より131件増加】

③ 県立高等学校

・総発件数は 42 件【前年度(51件)より9件減少】



(3) 校種別・形態別の発生件数〈表(3)〉

(暴力行為の形態は「対教師暴力」「生徒間暴力」「対人暴力」「器物損壊」の四形態)

① 公立小学校

- ・「対教師暴力」275件【前年度(169件)より106件増加】
- ・「生徒間暴力」340件【前年度(308件)より32件増加】
- ・「対人暴力」3件【前年度(3件)より増減なし】
- ・「器物損壊」123件【前年度(89件)より34件増加】

※ 県内における具体的事例

- ・授業中に教師から注意されたことに腹を立て、暴力を振るった。〈対教師暴力〉
- ・友人に注意されたことに腹を立て、両腕をつかみ、床に倒した。〈生徒間暴力〉
- ・感情的になり、身の回りのものを投げ飛ばして壊した。〈器物損壊〉

② 公立中学校

- ・「対教師暴力」114件【前年度(122件)より8件減少】
- ・「生徒間暴力」290件【前年度(170件)より120件増加】
- ・「対人暴力」2件【前年度(7件)より5件減少】
- ・「器物損壊」86件【前年度(62件)より24件増加】

※ 県内における具体的事例

- ・注意を促した教師に対し腹を立て、蹴った。〈対教師暴力〉
- ・自分の気持ちをうまく言葉にできなかったことがストレスとなり、相手に暴力を振るった。〈生徒間暴力〉
- ・腹を立て、玄関のドアを蹴りガラスを割った。〈器物損壊〉

③ 県立高等学校

- ・「対教師暴力」10件【前年度(12件)より2件減少】
- ・「生徒間暴力」20件【前年度(25件)より5件減少】
- ・「対人暴力」2件【前年度(4件)より2件減少】
- ・「器物損壊」10件【前年度(10件)より増減なし】

※ 県内における具体的事例

- ・指導中にカッとなり、教師に対し椅子を投げる等の暴力に及んだ。〈対教師暴力〉
- ・SNSの投稿にお互いに腹を立て、暴力行為に発展した。〈生徒間暴力〉
- ・自分の感情を抑えられず、友人をドアに押し付けガラスが割れた。〈器物損壊〉

2 公立小学校、公立中学校、県立高等学校および県立特別支援学校におけるいじめの状況

(1) いじめを認知した学校数（学校総数に対する割合）

公立小・中学校および県立学校はいじめを認知した学校の割合は 95.1%【前年度 96.1%】

① 公立小学校

・認知学校数 218 校（99.1%）【前年度 216 校 98.2%】

② 公立中学校

・認知学校数 98 校（100%）【前年度 98 校 100%】

③ 県立高等学校

・認知学校数 42 校（82.4%）【前年度 46 校 90.2%】

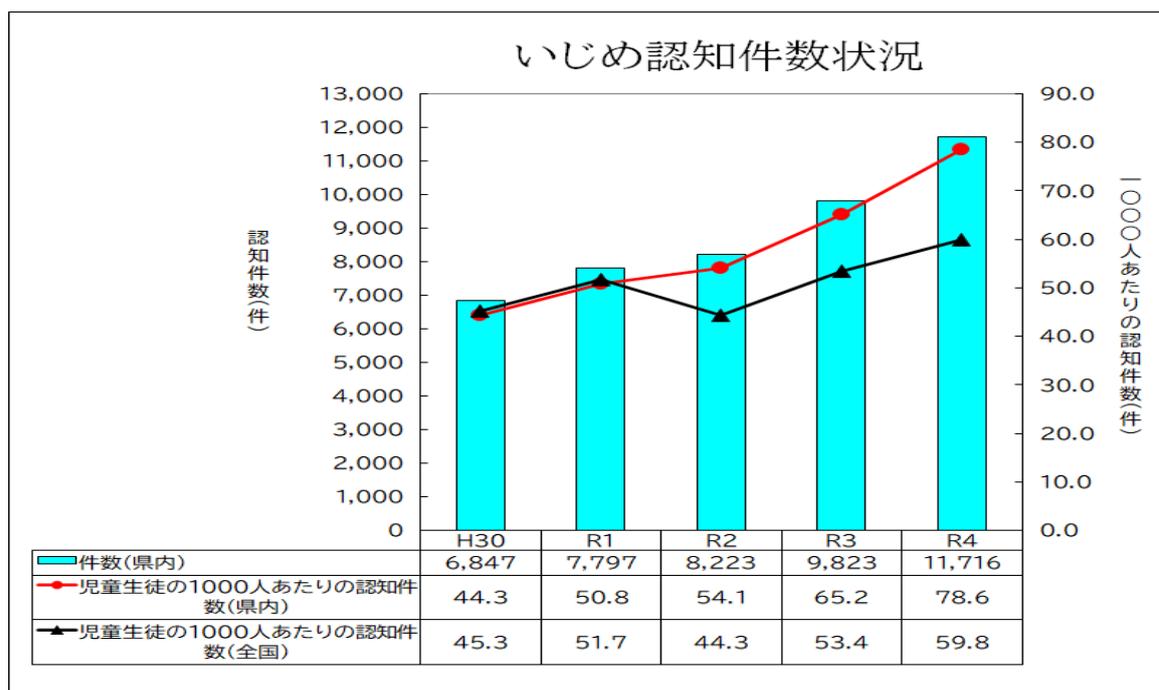
④ 県立特別支援学校

・認知学校数 8 校（50.0%）【前年度 10 校 62.5%】

(2) 県内公立学校いじめの認知件数〈表(4)〉

公立小・中学校および県立学校はいじめの総認知件数 11,716 件

【前年度（9,823 件）より 1,893 件増加】



(3) 校種別いじめの認知件数〈表(5)〉

① 公立小学校

・認知件数 8,896 件【前年度（7,457 件）より 1,439 件増加】

② 公立中学校

・認知件数 2,571 件【前年度（2,114 件）より 457 件増加】

③ 県立高等学校

・認知件数 185 件【前年度（207 件）より 22 件減少】

④ 県立特別支援学校

・認知件数 64 件【前年度（45 件）より 19 件増加】

(4) いじめの態様〈表(6)〉

ア 小学校における多い態様

- ① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。

※ 県内における具体的事例

- ・嫌なあだ名で呼んだり、悪口を言ったりした。
- ・一緒に遊んでほしくて、お腹や背中を叩いた。

イ 中学校における多い態様

- ① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。

※ 県内における具体的事例

- ・冷やかしや嫌がらせを SNS などを使い広げた。
- ・人の物を許可なく触ったり、隠したりした。

ウ 高等学校における多い態様

- ① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。

※ 県内における具体的事例

- ・運動部で複数の部員がからかいや仲間外れを行った。
- ・SNS 上で誹謗中傷や脅迫、ブロック行為を行った。

エ 特別支援学校における多い態様

- ① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。

※ 県内における具体的事例

- ・友人同士の中での誤解から仲間外れをした。
- ・仲間外れにされることを恐れ、SNS 上で相手の悪口を言った。

(5) いじめの重大事態の総発件数

公立小・中学校および県立学校の合計 13 件【前年度（7 件）より 6 件増加】

3 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における長期欠席の状況

（長期欠席は理由別に「病気」「経済的理由」「不登校」「新型コロナウイルスの感染回避」「その他」の 5 種類）

(1) 理由別長期欠席者数および不登校児童数（小学校）

① 公立小学校における長期欠席〈表(7)(8)〉

年間 30 日以上の長期欠席者数 2,476 人【前年度（2,420 人）より 56 人増加】

② 長期欠席者のうち不登校児童数 1,265 人【前年度（1,066 人）より 199 人増加】

不登校児童の在籍率 1.60%【前年度(1.33%)より 0.27 ポイント増加】

【学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない児童】

不登校児童数のうち 365 人【前年度(323 人)より 42 人増加】

不登校児童数に占める割合 28.9%【前年度(30.3%)より 1.4 ポイント減少】

(2) 理由別長期欠席者数および不登校生徒数（中学校）

① 公立中学校における長期欠席〈表(9)(10)〉

年間 30 日以上の長期欠席者数 3,242 人【前年度（2,872 人）より 370 人増加】

- ② 長期欠席者のうち不登校生徒数 2,120人【前年度(1,835人)より285人増加】
 不登校生徒の在籍率 5.41%【前年度(4.66%)より0.75ポイント増加】
 【学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない生徒】
 不登校生徒のうち 732人【前年度(736人)より4人減少】
 不登校生徒数に占める割合 34.5%【前年度(40.1%)より5.6ポイント減少】

(3) 理由別長期欠席者数および不登校生徒数(高等学校)

① 県立高等学校における長期欠席 **〈表(11)(12)〉**

年間30日以上の長期欠席者数 1,187人【前年度(1,099人)より88人増加】

② 長期欠席者のうち不登校生徒数 802人【前年度(727人)より75人増加】

不登校生徒の在籍率 2.86%【前年度(2.55%)より0.31ポイント増加】

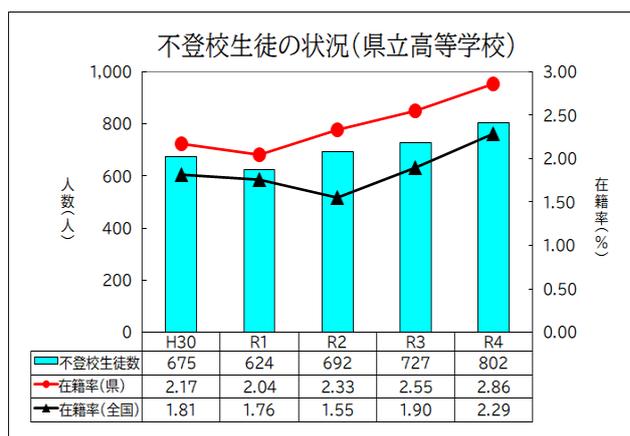
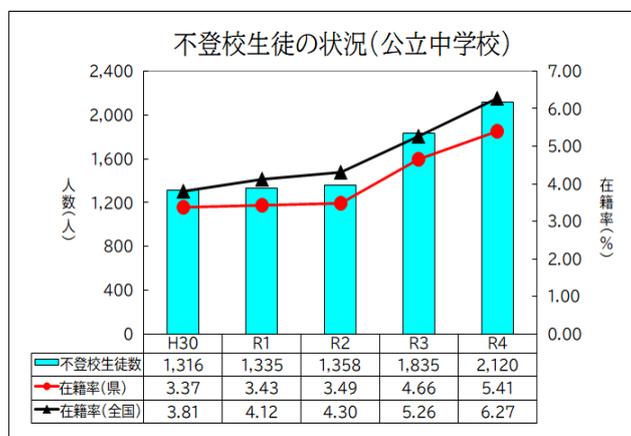
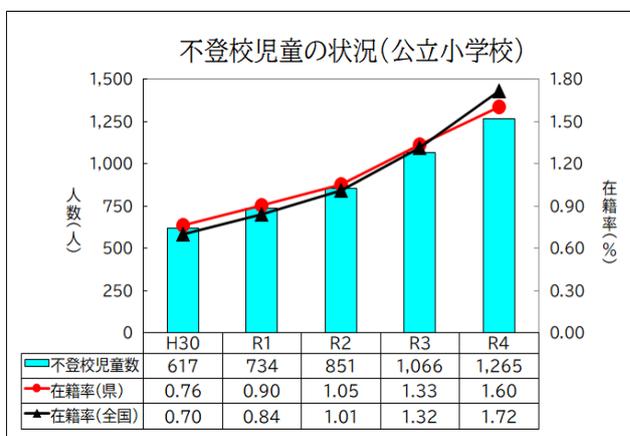
(全日制の不登校生徒数 656人【前年度(573人)より83人増加】)

(定時制の不登校生徒数 146人【前年度(154人)より8人減少】)

【学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない生徒】

不登校生徒のうち生徒数 342人【前年度(341人)より1人増加】

不登校生徒数に占める割合 42.6%【前年度(46.9%)より4.3ポイント減少】



(4) 不登校の要因

ア 公立小学校における不登校の要因 **〈表(13)〉**

- ・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が 640人(50.6%)、「親子の関わり方」が 188人(14.9%) を占める。

イ 公立中学校における不登校の要因 **〈表(14)〉**

- ・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が 1,048人(49.4%)、「いじめを除く友人関係をめぐる問題」が 301人(14.2%) を占める。

ウ 県立高等学校（全日制）における不登校の要因〈表(15)〉

- ・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が293人（44.7%）、「生活リズムの乱れ、あそび、非行」が115人（17.5%）を占める。

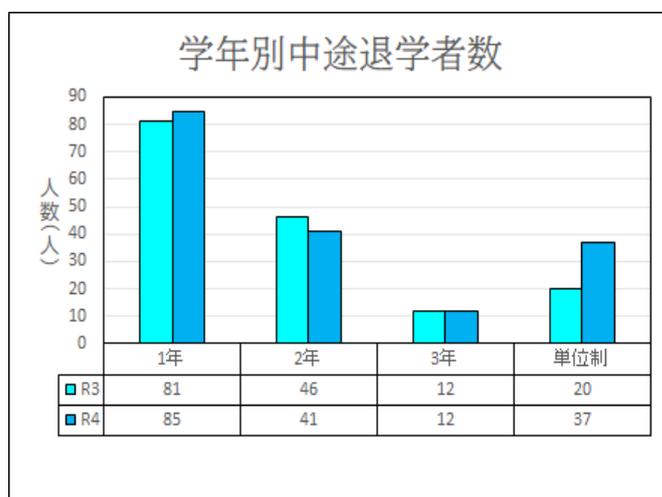
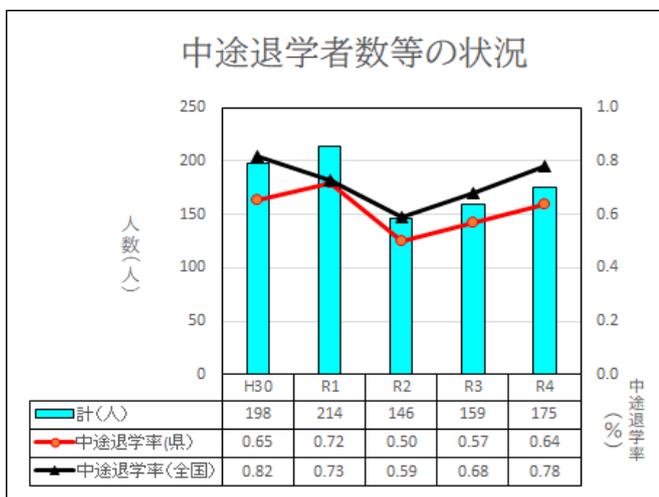
エ 県立高等学校（定時制）における不登校の要因〈表(16)〉

- ・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が89人（61.0%）、「入学、転編入学、進級時の不適応」が24人（16.4%）を占める。

4 県立高等学校における中途退学者数等の状況（全日制）

(1) 年度別・学年別中途退学者数・中途退学率〈表(17)〉

- ① 中途退学者数 175人【前年度（159人）より16人増加】
- ② 中途退学率 0.64%【前年度（0.57%）より0.07ポイント増加】
- ③ 1年生の中途退学者数 85人【前年度（81人）より4人増加】
- ④ 2年生の中途退学者数 41人【前年度（46人）より5人減少】
- ⑤ 3年生の中途退学者数 12人【前年度（12人）より増減なし】
- ⑥ 単位制の中途退学者数 37人【前年度（20人）より17人増加】



(2) 学科別中途退学者数・中途退学率〈表(18)〉

- ① 普通科の中途退学者数 99人【前年度（94人）より5人増加】
普通科の中途退学率 0.54%【前年度（0.49%）より0.05ポイント増加】
- ② 専門学科の中途退学者数 47人【前年度（46人）より1人増加】
専門学科の中途退学率 0.86%【前年度（0.86%）より増減なし】
- ③ 総合学科の中途退学者数 29人【前年度（19人）より10人増加】
総合学科の中途退学率 0.82%【前年度（0.54%）より0.28ポイント増加】

(3) 学年別理由別中途退学者数〈表(19)〉

- ・最も多い理由「学校生活・学業不適応」
77人（44.0%）【前年度（74人）より3人増加】
- ・次に多い理由「進路変更」
73人（41.7%）【前年度（50人）より23人増加】

5 公立小学校、公立中学校、県立高等学校における自殺の状況

- ・総自殺者数は8人【前年度（5人）より3人増加】